41	1944（昭和19）年この地方を襲った大地震により、磐田市内の東海道線に大きな被害がで、貨物列車の転覆などが発生しました。この場所はどこでしょうか。〔A. 鎌田付近　B. 豊田付近　C. 中泉付近〕
42	竜洋に飛行機の公園として親しまれている袖浦公園があります。設置された飛行機はF−86F戦闘機でブルーインパルス初代飛行機として有名です。この公園は何の跡地でしょうか。〔A. 自衛隊教習所　B. 福長兄弟の実験飛行場　C. 陸軍飛行学校〕
43	長年の大池水騒動の発端となった大池周辺の新田開発を最初に手がけたのは誰でしょう。 〔A. 松岡萬　B. 天野助次郎　C. 大草太郎左衛門〕
44	磐田市には天然記念物に指定されたおおきな楠が沢山ありますが、次の内で樹齢が一番長い木はどれでしょうか。 〔A. 善導寺の大楠　B. 須賀神社の大楠　C. 西光寺の大楠〕
45	従軍画家として中部129部隊にも在隊した画家で、「本多平八郎一言合戦之図」を描いたのは誰でしょうか。 〔A. 平井顕斎　B. 林大巧　C. 永岡孟斎〕
46	江戸時代の池田は渡船場としてさかえ、旅人の休息する多くの茶屋があり繁盛していました。街道沿いの名物は何だったでしょうか。〔A. どじょう汁　B. ざるソバ　C. 塩饅頭〕
47	豊浜交流センターに展示してある土師器は、約1500年以前の祭祀に使われたものといわれていますが、何処の遺跡から発掘されたものでしょうか。〔A. 塩口遺跡　B. 元島遺跡　C. 西貝塚遺跡〕
48	見付の省光寺の「来迎阿弥陀三尊像」は西方極楽浄土にいる仏像です。向かって右側に観音菩薩、向かって左側にはどの菩薩を従えているでしょうか。〔A. 普賢菩薩　B. 月光菩薩　C. 勢至菩薩〕
49	東海道線中泉駅は何時開業したでしょうか。この年静岡・浜松間も開通しました。 〔A. 明治22年　B. 明治33年　C. 明治44年〕
50	一遍上人の遠江遊行で時宗に帰依した省光寺は、元は真言宗のお寺です。足利氏の庇護を受けなんと呼ばれたでしょうか。 〔A. 鴨川道場　B. 御所道場　C. 北井上道場〕
51	豊岡7箇所の遠州大念仏が市の指定文化財になりました。市内で豊岡地区以外に大念仏の活動を続けている地区は何処でしょうか。〔A. 池田地区　B. 加茂地区　C. 見付地区〕
52	見付の福王寺に、今川氏の基礎を作った南北朝時代の人物のものと言われている墓があります、その人物は誰でしょう。 〔A. 今川氏真　B. 今川義元　C. 今川範国〕
53	「豊浜小学校校務日誌」は、当時の生活習慣をうかがい知ることが出来る資料です。1875（明治8）年に学校へ就任以来、40年間豊浜小学校に在職した人は誰でしょうか。〔A. 伊藤五郎　B. 市井策馬　C. 寺田彦太郎〕
54	豊岡敷地公園の岩室廃寺跡に観音堂が建っています。そのお堂の中に大きなお顔の仏像の写真があります。何という仏像でしょうか。〔A. 大日如来像　B. 日光菩薩像　C. 観音菩薩像〕
55	向笠の谷田南遺跡からは、古墳時代末期の古墳とそれとは別の時代の多数の住居、倉庫跡とが発見されました。 住居、倉庫跡は次のいつ頃の遺跡でしょうか。〔A. 弥生時代後期　B. 弥生時代中期　C. 弥生時代前期〕
56	見付の金剛寺は明治時代寺子屋教育が盛んに行なわれ、筆子は50余人を数えました。1894（明治27）年筆子により報恩碑が建てられましたが、この碑になんと書かれているでしょうか。〔A. 学而不厭　B. 思而不学則　C. 恩念而不厭〕
57	御殿二之宮遺跡より、東日本では最古の発見、鎌倉時代初めの大工道具が見つかりました。ノミ、キリ、刀子、砥石とあと一つは何でしょうか。〔A. 手斧　B. ノコギリ　C. ヤリガンナ〕
58	1871（明治4）年3千人余りの人が蓑と笠を着て、田原村三ケ野に集結した蓑笠一揆、首謀者5人の内の鈴木孫三郎、山田寛吉、鈴木惣太夫、大塚一郎平とあと一人は誰でしょう。〔A. 松本寅五郎　B. 鮫島万平　C. 多田銃三郎〕
59	2011（平成23）年、天竜浜名湖鉄道の駅舎や鉄橋など31施設が国の登録文化財となりました。その中でも上野部駅と天竜二俣駅の間に位置するコンクリート造りのトンネルは何と言うでしょうか。〔A. 阿蔵トンネル　B. 伊折トンネル　C. 神田トンネル〕
60	天竜川左岸の平野を潤す寺谷用水は、1590（天正18）年遠江代官の一人の人力により完成しました。何という代官でしょうか。 〔A. 平野重定　B. 野田三郎　C. 長谷川藤兵衛〕

キリトリ線

(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)
(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	(56)	(57)	(58)	(59)	(60)
(61)	(62)	(63)	(64)	(65)	(66)	(67)	(68)	(69)	(70)
(71)	(72)	(73)	(74)	(75)					

下記の必要事項を記入の上、点線で切り取って右の住所までお送りください。

お名前［　　］☎［　　−　　−　　］Mail［　　］

〒［　　−　　］ご住所［　　］年齢［　　才］